



## 公開プレゼンテーション実施状況

### 2-1 公共施設老朽化への対応（ファシリティマネジメント推進室）

区分	内容
基本方針	3 財政運営の自立性・健全性の確保
重点推進項目	⑭ 将来負担の適正化
取組項目	公共施設マネジメントの強化 (効果目標等：公共施設の保全計画の策定と将来負担の平準化)
各委員の意見	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「ファシリティマネジメント」という言葉や内容・手法が市民には分かりにくいことから、市民に認知してもらう努力をしてもらいたい。</li><li>○ 中核市における人口 1 人当りの延べ床面積の平均を基準として示すのではなく、必要な市民サービスを提供するために適切な規模はどの程度かという観点から計画を作成して欲しい。</li><li>○ 人口減少の中、今後多くの施設を維持していくのは困難となり、全国的に施設数を減少していく方向になると思われる。その際、数の多い教育施設などが主な対象となるが、道路や橋梁・公園なども対象となり、長寿命化や改修計画をFMの観点から行う必要がある。市民への影響が大きいものであるが、行政的で分かりにくいので具体的施設を例に、関係各課と協議連携しながら、市民に説明していく必要がある。</li></ul>
市民意見	施設の長寿命化を目的とした改修をするうえで、将来的に小学校を高齢者施設に使えるよう改修するなどの取組が必要だと思う。



意見を踏まえた取組に対する認識	公共施設の管理運営を総合的・中長期的な視点から行うファシリティマネジメントの推進にあたっては、市民意識の醸成が最も重要な要素であるため、今後も分かりやすい説明と情報提供に努め、施設の計画的な保全による長寿命化、施設機能の複合化及び改修・修繕にかかる費用の平準化等を図っていく必要があると考えています。
-----------------	--